

企画名：人々の思いと歴史を紐解く「核燃料サイクル」計画ドキュメンタリー制作プロジェクト

団体名：稲垣 美穂子

## 1. 報告要旨

本プロジェクトは2019年に開始したもので、「核燃料サイクル」計画を支える地域を軸として、原子力発電に伴う関連施設の誘致や建設が行われた地域住民の壮絶な抗いの歴史を紐解くドキュメンタリー制作を目指すものである。

本年度は、主に①これまで撮りためた映像と本年度撮影分をもとに、本編の導入となるような短編映像を制作し、本プロジェクトの意義周知に活用すること、②構成案に基づき本編完成に向けた取材を行うことを目標としていた。

### ①について：

短編映像の編集に関しては専門家に委託をし、問題背景及び取材対象者を紹介する短編映像「立地地域が語る“現世代の責任”」(11分4秒)を完成させることができた。短編映像には、六ヶ所村だけでなく福井県・佐賀県で活動してきた方々のコメントも大いに活用させていただいた。このことにより、「核燃料サイクル計画＝六ヶ所村」というイメージを超えて全国に影響を及ぼし続けている問題であることを示す構成にすることができた。

完成前に、近況報告会を開き、参加者の方々やプロジェクトメンバーの周囲の幅広い層の方々からコメントを頂いて改善することができた。

完成後には、原子力に精通した専門家に委託をし、英訳をして頂くことができた。今後は、ウェブサイトやSNSでの発信に力を入れ、短編映像を十分に活用するための戦略が課題として残った。

### ②について：

本業との関係で、予定していた時間を確保することが困難になり、2022年度の取材先は予定していた25名中9名となったことは大きな反省点である。ご病気のため取材不可の方もいらっしゃった。

一方で、これまでオンラインでのみ面識のなかった方々に実際にお目にかかることができるなど前進できたところもある。センシティブになりがちなテーマのため、取材には相当の関係性構築が必要だ。そのための足がかりとなる部分は大きい得ることができた。

## 2. 成果物

1. 「[短編映像『核燃料サイクル計画』映画制作プロジェクト～立地地域が語る“現世代の責任”](#)」(2023.1.4)
2. 「[どうする？原発のごみ 全国交流集会](#)」『週刊金曜日』(2023.6.16)
3. 「[北海道・幌延「核のごみ」問題で市民団体が申し入れ](#)」(2023.9.1)